

Lyrics | 『夜明乃唄』歌詞 (全文)

日々は半透明見えるハート 君の葛藤でさえも I know
いつも大丈夫ってその反応 冷えた男女 2時の散歩
夜の街灯はピサの斜塔 昨日の件は僕が謝るよ
揺らぐ感情は君のアート そう思うのそう思うの

時に急かされて サネカズラが咲くだろう
ブランターに木漏れ日を 染め上げた青の色
次はいつ会えるかな 言葉にすればキリがないよな
抱き合ったエントランス 人の目なんて気にならないから

夜明乃唄

思いを抱き寄せて 言葉にした 錨が上がるの
未来ならきっと見えるの いつかの日に抱く未練を
失わないこの relation 愛される覚悟を、愛し抜く過去を

まるで初めての様な言葉遣いだね 小説を1から読む気持ちさ
照れ臭く 顔を赤める
台本に書いてるテーマは 奴が勇者でも僕が主人公だ
この現実逃避は 左右に分けて地図指差してさ
あの街に知らないこの街 命短し旅せよ己
お惚気に近いような微笑み 恋で包んだ言葉を届け
次は明日会えるから 言葉にしなきゃ愛せないよな
涙してちょっとハグ 風鈴の音も気にしていられないから

すっかり街は冷える
イヤホン越しの君
愛情だってサウンドだってきっと コアに響く
いつもは夏祭り 見えない赤提灯
涙じゃなく汗で濡らしたいから
手を広げてみる 目を凝らして見る
実体ない感情と本音を 音が紡ぐ
無くさないように掴みたいよ 忘れないよ僕だけの愛を

夜明乃唄

思いを抱き寄せて 言葉にした 錨が上がるの
未来ならきっと見えるの いつかの日に抱く未練を
失わないこの relation 愛される覚悟を、愛し抜く過去を

日々は半透明見えるハート 君の感情でさえも I know
ちゃんと大丈夫なその反応 繋ぐ男女 9時の態度
朝の街灯もピサの斜塔 普通だって今は輝くよ
夜の太陽は君の愛情 そう思うのそう思うの